

The Japanese Association of Smoking Control Science (JASCS)



日本禁煙科学会

【事務局】〒630-8506 奈良市北魚屋西町

奈良女子大学 高橋研究室

tel・fax:0742-20-3245 E-mail: info@jascs.jp

1. 目的・事業

日本禁煙科学会とは

公衆衛生界初の国際条約「たばこ規制枠組み条約」(Framework Convention on Tobacco Control: FCTC)が2005年2月に発効しましたが、子どもたちをたばこの害から守り、健康な社会を実現してゆくためには、社会および個人の禁煙を科学する禁煙研究のさらなる振興が望まれます。その一翼を担うべく、有志のみなさまのご賛同・ご支援を得て「日本禁煙科学会」が設立されました。

本学会の特徴は以下の3点です。

(1) 「禁煙科学」研究の確立と推進

学会活動を通じて、政府、地方自治体、企業などがヘルスプロモーションに基づく喫煙対策を進めるための科学的なエビデンスが得られるように「禁煙科学」研究の確立と推進をはかります。

(2) すべての科学分野に開かれた学会

医師以外の職種の人たちにも広く開かれた学会とします。禁煙はすべての分野に関連する事柄であることから、医学・教育学・社会学・経済学等、すべての科学分野で研究や実践に携わる人たちがともに手をたずさえて学会活動を展開してゆきます。

(3) 研究成果の社会還元

従来からの研究会、講習会の基盤のもとに広く禁煙科学研究の担い手を育成するとともに、研究を禁煙推進に還元し、人々の健康と子どもたちの喫煙防止に貢献することで、国民の健康に貢献します。

目的および事業

ヘルスプロモーションに基づいた政策提言の基礎となる、幅広く質の高い禁煙研究を推進し、その研究成果を通じてひとりでも多くの人がたばこ依存から解放されて健康で豊かな人生を歩むことを支援し、また、子どもたちの喫煙防止に貢献することを目指します。禁煙を推進する活動の中で示唆された提言や禁煙実現に貢献する研究を推進してゆきます。

さらに地域や現場で禁煙に携わるみなさまが裾野の広い禁煙の担い手として研鑽する場を提供し、その発展を支援することで禁煙研究のいっそうの普及をはかり、国民の健康に貢献することを目的とします。この目的の達成のために、下記の事業をおこないます。なお本学会における禁煙とは、**smoking cessation** を基盤としつつ、広く受動喫煙防止や喫煙防止教育を含むものとします。

学会活動

- (1) 禁煙に関する学術的研究や調査の奨励及び業績の表彰
- (2) 学術総会、研究会、講習会などの開催と人材育成
- (3) 会誌、ニュースレターそのほか出版物の刊行
- (4) 禁煙啓発、禁煙支援、喫煙防止教育など禁煙普及活動
- (5) 内外の関連学術諸団体との連携及び協力
- (6) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

※主たる活動の詳細は3ページをご覧ください。

2. 沿革

日本禁煙科学会は、1996年に設立された禁煙支援についてのネットワーク(現在の禁煙健康ネット(KK))と、1999年から禁煙マラソンによって提供されてきた全国禁煙アドバイザー育成講習会がベースとなって、全国の有志のみなさまのご支援で2006年に設立されたものです。

1996年 臨床禁煙ネットのスタート

1996年に禁煙支援を効果的に行なうための情報交換の場として、当初20人の医師によりメーリングリスト(ML)臨床禁煙ネットがスタートしました。

床禁煙ネットがスタートしました。

このMLののちには「様々な分野で禁煙支援を志す方々が結集し、禁煙支援についてのスキル向上を目指す場とする」とMLの目的をさらに明確にし、2002年には禁煙健康ネット(kk)へと発展しました。

1997年 禁煙支援プログラム「禁煙マラソン」の発足

1997年、インターネット上でメーリングリスト(ML)を活用した禁煙支援プログラム「禁煙マラソン」の提供が始まりま

した。当時はインターネット・メールの黎明期でしたが、このプログラムで禁煙した人たちは、禁煙支援者として自分より後で禁煙する人たちの禁煙をサポートする立場になるだけでなく、禁煙マラソンプログラムそのものの運営も行う、大きなボランティア団体に育ちました。

1999年 第1回「全国禁煙アドバイザー育成講習会」開催

1999年からは、禁煙マラソンの社会貢献として「全国禁煙アドバイザー育成講習会」が開催されています。

当初はIT利用禁煙支援プログラム禁煙マラソンでの禁煙達成者を対象に、次世代の禁煙挑戦者に禁煙支援を効果的に行なう禁煙支援者育成のための講習会として開催されていましたが、そのレベルの高さと実践的な内容から、禁煙支援に携わる多くの医療保健従事者や教育行政関係者からの強い参加要望を受けるようになりました。

第3回（2000年）からは対象の枠を拡大して禁煙支援に携わる全国の医療者教育関係者等が参加して学ぶことのできる講習会となりました。

2003年「未成年喫煙防止研究会」「大学禁煙化プロジェクト研究会」発足

2003年には、未成年喫煙防止研究会（奈良女子大学主催）及び大学禁煙化プロジェクト研究会（主催：奈良女子大学保健管理センター内高橋研究室）という、全国禁煙アドバイザー育成講習会をベースにした二つの研究会が発足しました。

これらは未成年や大学生に対する防煙教育を効果的に行なうための媒体の開発研究や各年齢への禁煙支援方法の開発、各教育機関のネットワークづくりによる連携強化、教育機関の敷地内禁煙化等の研究と普及推進を目的に発足したもので、以後2006年までにそれぞれ年1回ずつ計8回開催されました。

以上の講習会と研究会は多くの禁煙支援者を育成し社会に送り出す役割とともに、研究会や講習会の域を超えて分科会や研究発表の場を提供する学術総会に準じた内容を有するなど、禁煙に関する研究推進の役割を果たすものとなりました。

2005年4月「禁煙研究会」発足

2005年には、これまでの活動の更なる拡充を図ることを目的に禁煙研究会（事務局：奈良女子大学保健管理センター内）が発足しました。

この研究会は「外来小児科学会（タバコ問題検討会）」など禁煙支援の実践・研究を目指す部門を有する他の学会との共同基盤となるとともに、日本禁煙科学会発足の準備会の役割も担いました。

2005年8月からは奈良県立医大吉田修学長を中心に、禁煙健康ネット参加者を母体とし、上記の「全国禁煙アドバイザー育成講習会」「未成年喫煙防止研究会」「禁煙研究会」を

発展的に統合する形で日本禁煙科学会の設立準備が本格的に進められることになりました。

2006年5月「日本禁煙科学会」設立

「禁煙支援」と「喫煙防止」に関する科学的研究を深め、さらに多くの社会的責任を果たすことを目的に、2006年5月27日京都大学にて日本禁煙科学会が設立されました。

併せて、日本禁煙科学会ホームページ（<http://www.jascs.jp/>）が開設されました。

2006年12月「第1回学術総会」開催（京都）

『禁煙を科学する—新禁煙時代の幕開け』をメインテーマに京都大学（京都府）において第1回学術総会が開催されました。以降、毎年1回、全国各地で開催しています。

2007年4月 学会誌「禁煙科学」発刊

学会誌『禁煙科学』をweb刊行しました。当初は季刊でしたが、2010年4月より毎月発行となりました。

2007年11月「禁煙支援・指導者のための禁煙科学」発刊

禁煙科学の集大成した禁煙マニュアルとして日本禁煙科学会編「禁煙支援・指導者のための禁煙科学」を刊行しました。

2008年2月「全国禁煙アドバイザー育成講習会」主催

日本禁煙科学会の研修プログラムとして「禁煙マラソン」に講習会を委託し「全国禁煙アドバイザー育成講習会」を主催しています。

2008年2月「禁煙支援者認定」制度スタート

日本禁煙科学会員のスキルアップ・モチベーションの確保、客観的な評価基準の提供を目的として、日本禁煙科学会による「禁煙支援者認定」制度がスタートしました。

2011年4月「東日本大震災」への長期支援活動開始

東日本大震災への長期的支援として、日本プライマリ・ケア連合学会と連携して、長期支援活動を続行することと致しました。支援者派遣への協力、被災地に入るプライマリケア医のための「UP TO DATEの翻訳」への協力等の面で支援させて頂くことに活動となります。

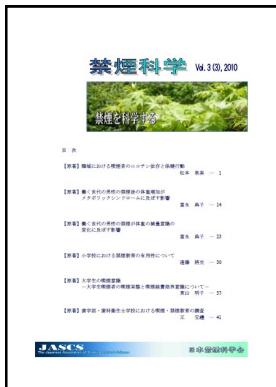
3. 活 動

◆学術総会の開催

開催	開催月	開催地	総会会長等(開催時の役職名等)	テーマ
第1回	2006.12	京都(京都大学)	総会会長：中原俊隆(京都大学大学院教授)	禁煙を科学する～新禁煙時代の幕開け
第2回	2009.11	奈良(奈良県立新公会堂)	総会会長：高橋裕子(奈良女子大学教授)	創ろう!タバコの煙のない環境を
第3回	2008.10	東京(聖路加看護大学)	名誉会長：日野原重明(聖路加国際病院理事長)	生きかた上手の戦略としての禁煙
第4回	2008.10	金沢	総会会長：岩城紀夫(日本臨床内科医会常任理事)	たばこのない社会をめざして～禁煙はからだにやさしいおもいやり～
第5回	2010.11	徳島	総会会長：川島周(徳島県医師会会長)	阿波の禁煙～からだに悪いたばこはやめなそんそん～
第6回	2011.11	那覇	名誉会長：宮城征四郎	赤ちゃんから始める禁煙活 童どう宝
第7回	2012.11	岩手		
第8回	2013.11	高崎		

(注)第6回以降は開催予定です。

◆学会誌「禁煙科学」の発刊



◇編集委員長 中山健夫
(日本禁煙科学会理事・京都大学大学院研究科教授)
◇定期刊行(ウェブ刊行)
2007-2008(vol1.1.-vol.1.3)は季刊、2010(vol.4)は毎月発刊

(写真)「禁煙科学」表紙

◆JASCS認定「全国禁煙アドバイザー育成講習会」開催

日本禁煙科学会認定の講習会として、全国各地にて開催しています。



(写真)熱心に受講する皆さん



◆禁煙に関する業績の表彰

表彰	受賞者	(受賞時の職名等)	年月
第1回学会賞	富永祐民氏	愛知県がんセンター名誉総裁長	2007.12
第2回学会賞	藤原久義氏	兵庫県立尼崎病院院長	2008.11
第3回学会賞	島尾忠男氏	エイズ予防財団第5会長	2009.10
第4回学会賞	Prof. Kwang-ho Meng	K S N R T (Korean Society for Research on Nicotine and Tobacco) 韓国禁煙学会会長	2010.11

◆「禁煙支援者」認定



(写真)「禁煙支援者」名簿(HP)

◇禁煙支援者

禁煙支援者に認定されると「禁煙支援士・禁煙支援医・禁煙支援外来医・禁煙支援薬剤師」等の称号を用いることができます。

◇認定を受ける方法

「認定講習会等参加点5点」と「実績レポート5点」を満たし、認定試験に合格することによって認定申請が可能です。

◇「禁煙支援者」認定試験

全国禁煙アドバイザー育成講習会等にて認定試験を実施しています。

◇認定申請

年2回(2月・8月)申請受け付けしています。

◇更新

5年間有効です。

◆出版物等の刊行



日本禁煙科学会編
「禁煙支援・指導者のための禁煙科学」(2007.11)



日本禁煙科学会薬剤師分科会
「禁煙日記」(2008.11)

3. 顧問・理事

名誉理事長

吉田修 奈良県立医科大学特別顧問 京都大学名誉教授

特別顧問

原中勝征 日本医師会 会長

日野原重明 聖路加国際病院 理事長・名誉院長

和田昭允 理化学研究所ゲノム科学総合研究センター特別顧問

顧問

伊藤公一 日本大学 歯学部 教授

岩月 進 社団法人 日本薬剤師会 常務理事

保阪シゲリ 日本医師会 常任理事

大熊由紀子 元朝日新聞東京本社論説委員

国際医療福祉大学大学院 教授

大野竜三 愛知淑徳大学医療福祉学部教授

愛知県がんセンター名誉総長

垣添忠生 国立がんセンター 名誉総長

北 徹 京都大学 副学長 京都大学大学院医学研究科教授

北村惣一郎 国立循環器センター名誉総長

金城幸善 沖縄県総合保健協会 理事長

篠山重威 同志社大学 生命医科学部 教授

鳶巣賢一 静岡県立静岡がんセンター 院長

富永祐民 愛知県がんセンター 名誉総長

あいち健康の森健康科学総合センター名誉センター長

中原俊隆 京都大学大学院医学研究科 教授

西村周三 京都大学副学長（経済学）

丹羽雅子 奈良女子大学前学長

藤原久義 兵庫県立尼崎病院院長 岐阜大学名誉 教授

前野一雄 読売新聞社東京本社 医療情報部 部長

森田陸司 滋賀医科大学 名誉教授 医仁会武田総合病院院長

理事長

高橋裕子 奈良女子大学 保健管理センター 教授

副理事長

中村清稲 長生会中村病院 院長

理事

岩城紀男氏 岩城内科医院 院長

佐本 明 和歌山県議会事務局 調査課 課長

富永典子 エア・ウォーター健康保険組合 保健師

中川利彦 弁護士 たばこ問題を考える会わかやま事務局長

中山健夫 京都大学大学院医学研究科 教授

野田 隆 のだ小児科医院 院長

東山明子 畿央大学健康科学部理学療法学科 教授

三浦秀史 慶応義塾大学 SFC研究所 上席所員

4. 委員会・分科会

◆委員会

日本禁煙科学会に設置されている委員会です。各委員会とも委員長の下、委員を委嘱しています。

名称	委員長	内容
会則委員会	中川利彦	会則や補則等についての必要事項の検討
財務委員会	岩城紀夫	学会の財務についての必要事項の検討
通信委員会	三浦秀史	JASCS通信の内容決定
認定委員会	野田隆	禁煙支援者認定の実施
編集委員会	中山健夫	学会誌「禁煙科学」の投稿論文の採否の決定及び出版業務
HP委員会	佐本明	HPの拡充とリンクの選択
国際協力委員会	安次嶺馨	海外学術団体との連携の推進
教育評価委員会	東山明子	禁煙支援者育成カリキュラムやその他教育プログラム作成 認定基準に関する事項 教育プログラムや認定評価基準に関する事項
法人化委員会	中村清稲	学会の法人化に関する検討

◆分科会

日本禁煙科学会は、みなさまの禁煙推進に役立つ職種横断型の

科学的研究を推進することをひとつの特徴としており、その一環として、分科会(研究グループ)の研究情報を随時提供し、新鮮な研究結果を禁煙の普及に役立てて頂きます。

名称	分科会長
アスリートの禁煙分科会	東山明子・畿央大学
教育分科会	北山敏和・元和歌山県教育委員会
禁煙治療分科会	長谷川浩二・国立京都医療センター
精神科分科会	河村裕・鹿児島大学
たばこ経済分科会	高橋裕子・奈良女子大学
歯科教育分科会	王宝禮・松本歯科大学
小児科分科会	野田隆・のだ小児科医院、牟田広実・飯塚市立病院
職域分科会	三浦秀史・禁煙マラソン
心理学分科会	山田富美雄・大阪人間科学大学
地域・行政分科会	佐本明・和歌山県
薬剤師分科会	原隆亮・和歌山県薬剤師会、伊藤裕子・大分県薬剤師会
看護師保健師分科会	石田あや子・さいたま市立病院、寺嶋幸子・国立京都医療センター